

第2回南砺市利賀地域山村留学定住推進協議会

令和元年9月26日(木) 午後6時00分～
南砺市役所 利賀行政センター 2階特別会議室

1 開会

2 補欠委員について

3 会長の選出について

4 協議事項

(1)夏季短期山村留学「源流の森と山村の暮らし体験キャンプ」の実施報告について 資料1

(2)冬季短期山村留学「冬休み豪雪の村の自然と暮らし体験キャンプ」の実施計画について 資料2

(3)今後の山村留学定住推進事業の展開について 資料3

3 次回の協議会について

次回会議 令和2年 月 日 () 時 分～

4 閉会あいさつ

南砺市利賀地域山村留学定住推進協議会委員名簿

R1年度

(任期：令和元年度～2年度)

機関・団体名	役職名	氏名	備考
利賀地域づくり協議会	利賀地域づくり協議会会長	野原 哲二	R1
	利賀婦人会長	江尻 美佐子	R1
	区長会副会長	野村 雅樹	R1
	生涯学習スポーツ部会長	浦辻 一成	H29
小中学校	利賀小学校長	松永 和久	R1
	利賀中学校長	梨谷 一男	R1
利賀地域児童生徒育成会	利賀地域児童生徒育成会会長	長谷 修司	R1中学校PTA会長
	利賀地域児童生徒育成会副会長	笠原 一忠	R1小学校PTA会長
公募委員（4名）		上田 明美	H29ワークショップメンバー
		野原 恵子	H29里親経験者
		宮本 正義	R1
		窪田 芳江	R1
南砺市商工会利賀村支部	南砺市商工会利賀村支部長	野原 一司	(新)
	南砺市商工会利賀村支部所長	斎藤 嘉久	H29
一般財団法人利賀ふるさと財団	利賀ふるさと財団副理事長	野原 宏史	H29
利賀村民宿組合	利賀村民宿組合長	中西 邦康	H29
教育委員会	教育長	松本 謙一	R1

【アドバイザー】

所属・役職	氏名
(公財) 育てる会・代表理事	青木 厚志
(公財) 育てる会・常務理事	山本 光則
(公財) 育てる会・事業部長	秋山 雅光
南砺市商工会利賀村支部	須河 紗也子

【事務局】

所属・役職	氏名
教育部長	村上 紀道
利賀行政センター長	岩 腰 肇
南砺で暮らしません課長	市川 孝弘
生涯学習スポーツ課長	桜野 高弘
教育総務課長	氏家 智伸
教育総務課 学務係長	野村 大輔
教育総務課 学務係	近藤 隆洋

2019 源流の森と山村の暮らし体験キャンプ 夏 スケジュール

	7月25日	7月26日	7月27日	7月28日	7月29日	7月30日	7月31日
6:00		起床、洗面 6:30ラジオ体操、朝の集い	起床、洗面 6:30ラジオ体操、朝の集い	起床、洗面	起床、洗面 お手伝い	起床、洗面 お手伝い	起床、洗面 朝の集い
7:00		朝のお話し 食事配膳 朝食 片付け	朝のお話し 食事配膳 朝食 片付け	食事準備 手伝い 朝食 片付け準備	朝食 お手伝い	朝食(自炊) お手伝い	朝食準備 朝食 片づけ
8:00	7:50東京集合 8:15名古屋集合→8:50名古屋発	ミーティング	着替え、持ち物準備 ミーティング	荷物整理	荷物整理 余裕をもって出発	荷物整理 掃除	荷物まとめ 帰る準備
9:00	8:36東京発	森と源流の村巡りピンゴ 班ごとに歩く(地図の準備) 地域の方とお話しをする 地域の方とお話しをする	選択活動 溪流ウォッチング 利賀川で魚釣り 合掌づくり集落散策	農家さんのお手伝い 汗を流して農業体験	農家さんから戻り 荷物整理 キャンプ荷物準備	バスで出発 スターフォレスト戻り 荷物確認、洗濯	アンケート 作文 フリータイム
10:00						フリータイム	10:30掃除、忘れ物確認
10:46					上百瀬～百瀬方面へ歩く 瑞峯農園、春田豆腐等見学		
11:00	11:20新高岡着 11:48金沢着	友だちづくり センター戻り	各グループ昼食づくり(飯盒炊爨、豚汁)	食文化体験 農家さんごとに	国際キャンプ場着	利賀川遊び、自炊ミーティング	11:30昼食
12:00	11:30新高岡発	昼食配膳	昼食	昼食	昼食	昼食	12:15終わりの会 12:45バス、ワゴン発(新高岡、金沢)
13:00		片付け1班 ミーティング(川遊び、キャンプ) 利賀川遊び	選択活動	農家周辺探検	活動ミーティング 百瀬川遊び・散策コースも	地元の子ども集合 対面式、着替え 川選択活動 川遊び、探検、クラフト	↓ 金沢解散 14:48金沢発名古屋行
14:00	14:00スターフォレスト着 14:20始まりの会	雨天時:体育館コースターづくり		地域の方と交流する			
14:45			選択活動終了			スターフォレスト戻り	
15:00	竹の箸づくり	終了、着替え おやつタイム 水着等洗濯	スターフォレストへ戻り 農家入りのお話し 荷物整理		おやつ 片付け ケビン入り、希望者テント設営	着替え水着洗い おやつ	15:04新高岡発
16:00	おやつ 片付け、散歩 片付け 16:30入浴	16:30入浴各班30分ごとに 25.26日の洗濯、タオル干し	農家入り		夕食づくり(飯盒炊爨) グループ毎にカレーライス サラダ	夕食づくり(地元の子参加) 料理班に分かれてミーティング	
17:00			入浴	入浴	夕食	自炊夕食	
18:00	配膳 夕食	配膳 夕食 片づけ	お手伝い 夕食 お手伝い	お手伝い 夕食 お手伝い	片付け	夕食	18:00東京、 18:00名古屋解散
19:00	片づけ		だんらんの時間	だんらんの時間	集いのタベ	片付け 交流会(それぞれ出し物披露)	
19:30	夕涼み		洗濯タイム	荷物整理			
20:00	日記(しおり)、翌日の活動ミーティング	夜道散歩 日記(しおり)、翌日の活動ミーティング 選択活動別作戦会議	日記(しおり)	日記(しおり)	入浴(各ケビン) 日記(しおり)	入浴 日記(しおり)	
21:00	消灯 スタッフ話し合い	消灯 スタッフ話し合い	消灯	消灯	消灯	消灯	
22:00							

2019 源流の森と山村の暮らし体験キャンプ 参加者

	性別	学年	年齢	住所
1	男	4	9	東京都
2	男	5	10	千葉県
3	男	2	7	千葉県
4	男	3	9	愛知県
5	女	2	7	愛知県
6	男	6	11	京都府
7	男	2	7	東京都
8	男	4	9	愛知県
9	男	2	8	石川県
10	女	2	7	東京都
11	男	4	9	神奈川県
12	女	3	8	東京都
13	女	2	8	東京都

	性別	学年	年齢	住所
14	女	5	10	東京都
15	女	6	12	東京都
16	男	4	9	東京都
17	男	3	8	神奈川県
18	男	4	9	東京都
19	男	4	9	東京都
20	男	4	9	東京都
21	男	6	11	神奈川県
22	男	5	10	滋賀県
23	男	2	7	東京都
24	男	4	9	東京都
25	女	4	10	兵庫県

【集計：学年・男女別参加者数】()は昨年度

学年	男	女	合計	昨年も参加
2	4(5)	3(4)	7	
3	2(9)	1(3)	3	1
4	8(0)	1(4)	9	6
5	2(3)	1(1)	3	
6	2(3)	1(1)	3	
	18	7	25	7

【集計：地域別参加者数】()は昨年度

東京都	13(14)
神奈川県	3(3)
千葉県	2(3)
愛知県	3(3)
滋賀県	1(0)
兵庫県	1(0)
京都府	1(0)
石川県	1(1)
計	25

※昨年度
埼玉県3
静岡県2
福岡県2
南砺市2

2019 源流の森と山村の暮らし体験キャンプ 事業報告写真

<参加者への説明会> 6月30日 東京会場（於：オリンピック記念青少年総合センター）



<指導ボランティア事前打ち合わせ>



<夏キャンプ>

1日目：

東京駅集合



西本願寺高岡教務所にて昼食



始まりの会



始まりの会



竹の箸作り



2 日目：

ビンゴハイク



川遊び



3 日目：

選択活動、昼食自炊活動（ご飯・豚汁）

①釣り体験

②溪流ウォッチング

③相倉合掌造り散策



4 日目：

各農家での体験活動

わら細工づくり

流し素麺

餅つき



イワナのさばき体験



野菜収穫



BBQ



5 日目 :

果樹園見学



豆腐屋見学



百瀬川遊び



カレー作り



テント泊



6 日目 :

利賀川遊び



夕食づくり・地元の子どもの交流



7日目：

スターフォレストの掃除

離村式

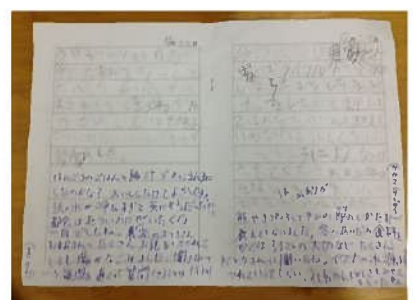


日々の生活：

食事の準備

朝の集い

日記書き



「利賀の夏 源流の森と山村の暮らし体験キャンプ」参加児童アンケート結果

参加者25名 回答25名 回答率100%

Q1. 南砺市利賀村を知っていましたか？ ① はい 9人 ② いいえ 16人

Q2. 参加する前、キャンプの何が楽しそうでしたか？

- ① 川あそび 17人 ② 農家でのおとまり 16人 ③ キャンプ 17人
 ④ 竹のはし作り 8人 ⑤ 農業体験 9人 ⑥ 山の料理作り 9人
 ⑦ みんなで泊まること 6人 ⑧ 山の自然 12人
 ⑨ そのほか (釣り 3人 友達作り 虫取り)

Q3. 参加して楽しかったことは何ですか？

- ① 川あそび 23人 ② 農家でのおとまり 21人 ③ キャンプ 17人
 ④ 竹のはし作り 12人 ⑤ 農業体験 10人 ⑥ 山の料理作り 9人
 ⑦ みんなで泊まること 14人 ⑧ 山の自然 10人
 ⑨ そのほか (釣り 3人 村めぐりビンゴ 虫取り 日記を書く ふとんやシーツを敷く)

Q4. キャンプは長かったですか？

- ① ちょうどいい 7人 ② もう少し長くてもいい 12人 ③ もう少し短くてもいい 6人

Q5. 利賀村で同じようなキャンプや体験学習があれば、また参加したいですか？

- ① 参加したい 13人 ② 考えてみる 8人 ③ 参加しない 4人

Q6. 利賀村のような山の村で、半年や一年間、親からはなれて暮らす山村留学に参加してみたいですか？

- ① 参加したい 9人 ② 少し関心がある 3人 ③ 参加したくない 7人
 ④ わからない・まよう 6人

Q7. 「わからない・まよう」と答えた人にお聞きします。どのような体験ができると参加したいですか？

(自由に書いてください) 虫取り 祭り 蜂の養殖 ボール遊び 岩魚のつかみ取り

Q8. そのほか、キャンプの感想を自由に書いてください。

たとえば：農家でもっといろいろな体験したい、星空かんさつをしたい、自由時間をもっとほしい など

- ・川遊びを長くしてほしい (6人)。
- ・農家体験をもっとしたい (5人)。
- ・星の観察をもっと長く (2人)。
- ・虫取りの時間が欲しい。
- ・和紙作りがしたい。
- ・キャンプでもっと料理を作りたい。
- ・釣りの時間を長く。
- ・もっといろいろな体験をして見たい。
- ・自由時間をもっとほしい。
- ・自由時間を短くして活動時間を多くほしい。
- ・川の水が冷たかった。
- ・川遊びでもっとスライダー作りをしたい。
- ・キャンプはもう少し短くてもよい。
- ・農家の人がやさしかった。
- ・トノサマバッタが気持ち悪かった。
- ・楽しかったけどさみしかった。

「利賀の夏 源流の森と山村の暮らし体験キャンプ」 保護者アンケート結果

参加者 25人 回答者 13人 回答率 52%

2. 南砺市利賀村をご存じでしたか? ①はい 6人 ②いいえ 7人

3. 今回のキャンプを何の情報で知りましたか?

①インターネット 6人 ②チラシ 0人 ③口コミ 0人 ④育てる会 7人
⑤その他 2人 (親類から、昨年度参加)

4. お子さまのキャンプに参加した感想についてお知らせ下さい。

①とても満足している 10人

- ・農家さんで熊鍋を食べたり、地元ではできない体験の数々をさせてもらって満足です。
- ・他のキャンプにはない様々な山村の暮らしの体験を通して、日を追う毎に緊張がとけ、笑顔でとても楽しんでいるのが分かりました。またキャンプに行きたい、冬も行きたいと言っています。
- ・昨年参加してとても楽しかったようなので今年も参加しました。川遊びをたくさんできて、生き物などのことをたくさん話してくれました。
- ・「とても楽しかった!」「もっと長くいたかった!」と言って帰ってきました。特に農家さん宅での時間が一番思い出に残っているようです。ブルドーザーの運転体験やピザ作りなど。
- ・地域の皆さんや育てる会の皆さんに温かく見守って頂き本当に感謝しています。「利賀村の空気はおいしかったのに東京の空気はおいしくない」と言っていて、環境について本人なりにいろいろ考えることができたようです。
- ・水遊びが大変気持ちよく楽しく、釣も本当はやりたくて…と遊び足りない様子でした。食事何もかも美味しく、特にご幣餅が美味しく、作るのも楽しくて…と、利賀村に胃袋もがっちりつかまれましたようです。
- ・あまり積極的に参加した訳ではありませんが、帰りの電車の中で、こんなことをした、あんなことをしたといろいろ話してくれました。高学年になり学校の事も細かく話さないの、よほど楽しかったのだらうと思いました。

②ほぼ満足している 3人

- ・活動内容については何でも楽しく行うことができたようだが、体調管理がうまくいかなかったこと(アトピーや喘息について)がストレスになったようです。川遊びや畑仕事、岩魚にえさをやるのを見たのが楽しく心に残ったとのこと。

③やや不満である 1人

・親元を離れて合宿するという時点でホームシックになる（程度は異なりますが）ことは明らかであり、そのことに対してのスタッフの方々の意識や対応の仕方に疑問を感じています。不安に感じたり、寂しくなり涙する事に対して、より寛容に受け止めてくださるような合宿であれば尚良くなるのではと思いました。

④とても不満である 0人

⑤その他 0人

5. 活動に参加させてみてよかったと思われることはどんな点ですか。

- ・親元から離れた場で初めて会う仲間と過ごすことは、性格的にシャイなので苦手だと思のですが、6日間リーダーとして頑張れたという話を伺い成長を感じました。
- ・日常生活の中では出来ないはし作り、物を大切に使う心が芽生え家に帰ってからも使っています。少したくましくなって帰ってきた子どもたちをほほえましく感じました。いろんなキャンプに参加してきましたが、一番充実しててよかったです。
- ・低学年参加者の面倒を見ることは本人は大変だったようですが、良い経験になっています。
- ・毎年育てる会のいずれかのキャンプに参加しています。一人っ子なので集団の中で生活することができて、一回り心の成長を感じました。
- ・成長した様子が目に見えてわかりました。少しホームシックを感じたようですが、親元から離れての活動で自信が持てたようです。
- ・同年代の子供達と大家族的な雰囲気の中で生活できたこと。また、身の回りのことは1人で行うなど自主性と生活の技能を高められたこと。
- ・新しい友達が出来たこと。自然体験が出来たこと（川遊び、野菜の収穫、やぎと遊んだ、キャンプで自炊など）
- ・今年は毎日まめなブログの更新があり、子供達の状況が分かるのが良かったです。
- ・こちらのキャンプは食事に気を遣われているところが良い印象です。
- ・普段の学校生活のことはあまり話してくれるタイプではないのですが、帰りの電車の中、利賀のことを切れ目なく話してくれ、本当に楽しかったんだなあと思い親としては大満足です。
- ・自立心がさらに芽生えたように感じます。子供からは農家泊をもう一日増やしてほしいそうです。
- ・一人でやりきって帰ってきたという自信にあふれる表情を見せてくれました。子供と数日間離れて生活してみて改めて教育や子育て、子どもとの生活について考えることができました。
- ・息子にとっても、また家族にとっても、利賀村が必ず行きたい大切な場所になりました。
- ・まだ急な変化を感じるほどのことはないが、帰ってすぐにゲームをすと思いきや、タブレット

学習を先にやったので、自分を抑える力が少しついたかも?と思いました。

・家では出来ない体験をすること。辛いことを乗り越える強さを身につけること。

6. 活動内容、指導方法、その他ご要望がありましたらご記入下さい。

・写真の販売があると嬉しいです。

・盛りだくさんの活動内容で楽しかったようです。冬休みには3年生の娘を参加させたいと考えています。

・活動報告、HP ブログで細かく載せて頂きありがとうございます。申込がネットからできるようになると楽なのになあと思いました。

・説明の資料などが手違いなのか、送られてくるのが遅くなってしまい準備の日数が少なかった。その他は説明も十分あって、毎日WEBで活動の様子が見られて良かったです。

・親としてはスタッフに安心して任せられる点が一番とおもいます。こちらのキャンプはきつすぎず、ゆるすぎないバランスが良いと思います。

・6泊7日と長い時間お世話になりました。来年度は山村留学はないのですね。残念です。

・子供が来年も行きたいと言っているので、宜しく願いいたします。

・期間中、活動ブログも読ませていただきましたが、ものすごく内容の濃いプログラムで十分すぎると思います。キャンプ初心者にもむけて目安として〇〇kgのリュックを用意とか案内してもらえるとたすかります。

7. 今回のキャンプに申込みされたのはどのような理由、目的からですか? 当てはまるもの全てに○印を付けて下さい。

①友だちに誘われたから 0人 ②活動内容が良さそうだったから 12人 ③費用面でよかつたから 7人

④活動場所に魅力を感じるから 10人 ⑤育てる会や指導員に進められたから 0人

⑥活動日数が子どもに最適だと思ったから 3人 ⑦似たような活動に参加経験があつたから 1人

⑧生きもの・草花に関心があるから 3人 ⑨山村の暮らしに関心があるから 4人

⑩将来山村留学を考えているから 4人 ⑪自然環境(山・水・空気など)に関心があるから 5人 ⑫その他 1人

8. 今後、利賀地域にて、長期(1年間)の山村留学制度が実施された場合、参加を考えますか。

①参加したい 1人 ②内容による 3人(ex.金額による) ③分からない 2人

④長期は検討していない 7人

夏休みの活動振り返りについて

1 2019年度夏休みの活動を振り返って

(1) 総括

今回は人数を25人と絞り込み、小学校低学年の子どもの割合を少なくしたことや、活動に意欲的に取り組もうとする子どもや落ち着いた子どもが多かったため、これまで以上に深みのある活動を実施することができた。

リーダースタッフも経験者が多く、今回初めて参加した方も熱心に子どもたちと向き合い、期間を通して子どもたちの多様なニーズに応えることができた。

スターフォレストの食事は、地元産の野菜等をふんだんに使用し子どもたちにも好評であった。

また、農家さんではそれぞれに工夫したプログラムを取り入れていただき、他の地域ではできないホームステイ体験ができた。

一方、荷物整理や生活スペースの掃除については行き届かない面があった。

また、初日からホームシックとなり1週間という長期間の活動への参加について無理があった参加者もみられ、指導者が対応に苦慮したこともあった。そのため、長期間の場合については、募集チラシや参加要項でこれらのことを伝える工夫が必要であることを痛感した。

夏休みの活動は三回目となるが、これら経験者を長期山村留学にどのように結び付けていったらよいか考えていきたい。

(2) 竹の箸づくり

使用した竹が他のイベントで使用したものだったのか中が黒ずんでいた。箸ということもあるので新しい竹を準備する必要がある。

また、鋸や鉋をグループごとに準備していたが、ナイフで削る前段階まで大人が加工してしまったため、幼児や小学校低学年の子どもの対象とした箸づくりとなってしまった。参加者にも鋸を使わせるなど、リーダーの打ち合わせをしっかりとしていきたい。

(3) 地域巡りビンゴ

グループごとに分かれてスターフォレスト周辺地域を歩いたが、地域の方とも話ができてグループごとに唄を歌う発表会では、隣の保育園の元先生に審査をしていただくなど大いに盛り上がった。今後も続けて行きたい活動である。

(4) 川遊び、水遊び

スターフォレスト横の利賀川は安全で且つスリルと変化のある遊びができ、子どもたちが毎日でも出かけたと思うほどの絶好の川遊びスポットとなった。

地元の子どもたちも一緒に遊んでいたが、今後もライフジャケットとヘルメットをしっかりと準備し活動に取り入れたい。また、百瀬川でも流れに乗って遊ぶことができた。

今後は、利賀川をさらに下って飛び込みができるようなフィールドも探していきたい。

一方で、川の活動では指導員がスライダーづくりに夢中になってしまい、安全管理の面でやや問題を感じた。今後は、事前研修及び活動場所において安全管理について徹底していきたい。

坂上地区と上畠地区を結ぶ林道沿いに流れ落ちる滝水も、子どもたちには魅力ある遊び場として映じたようである。

(5) 農家の暮らし体験

農家さんには4人～6人単位で二泊お世話になったが、農業や食事作りのお手伝いもさせていただいた。それぞれの農家さんが、ジャガイモ掘り、苗木植え、魚の養殖、薪割り、食卓に並べる野菜や山菜採り等、体験内容も工夫して無理のない活動を準備してくださったので、他の地域にはないような充実した農家の暮らし体験ができた。

(6) スターフォレスト

一昨年度は食事関係や施設の使用で問題を感じ、昨年は施設使用も食事面も良かったが、スタッフ不足で食材料の搬入や食事作りに手間取り時間が遅れ気味になっていたが、今回は食事内容がさらに工夫されて美味しく、食事時間も厳守されており申し分なかった。

一方で、施設管理スタッフ不在のため、廊下やトイレ等の共用スペースの清掃が行き届かなかった。朝と夜の食事前後の15分ほどの時間を使い、大人も子どもも一緒になって手分けして清掃すべきであった。

(7) 選択活動

9:00～15:00までの時間を使い、昼食づくりも含めて三つのグループに分かれて選択活動をおこなったが、それぞれ腰を据えた深みのある活動ができた。6人～10人程度の集団で力を合わせ、与えられた環境、条件下で昼食を作って食べるという活動は今後も取り入れていきたい。

相倉茅葺屋根集落グループは熱心にガイドの話聞き、こきりこ節の唄と舞も教わったので、この地方に伝わる唄や踊り等にふれる活動があってもよいと強く感じた。

また、このような少人数グループの活動に地元の子どもたちが加わることでさらに深い交流がはかれるのではないかと感じた。

(8) ログハウスとテント野営キャンプ、百瀬地区の活動

国際キャンプ場のログハウスを使わせていただいた。風呂があり、朝食なども室内で作ることができ、ロフトで8人程度休めるのはとても良かったが、日当たりが悪くじめじめした環境が少し気になった。

空き時間に上百瀬の果樹園や豆腐屋を訪ねたが、興味のある子が早起きして豆腐作りを見学する等の活動も今後は考えてみたい。

(9) 募集対象と人数について

川の活動は7月下旬が望ましいが、その期間はボランティアの確保が困難な時期でもある。また参加者人数を絞り込むことでより深みのある体験活動が可能になることから、募集人員を25名程度にとどめ、小学校2年生、3年生が占める割合を少なくした。結果、これまでにない活動を実施することができたと考えるので、今後も夏冬休みの活動は少人数で実施したい。

(10) 地元の子どもとの交流活動

二日目の午後の川遊びと六日目の夕方の活動に地元の子どもが参加し、お別れ会では地元の子どもたちが五箇山地方の民謡「麦屋節」を披露してくれた。また、夏休みキャンプ参加者からは踊りと太鼓（現在兵庫県で山村留学をしている子どもたちを中心に）を披露し交流を深めた。

富山の秘境

とが

2019 利賀天空の郷

雪国の自然と山村の暮らし
体験キャンプ

なんとしとがむら

富山県南砺市利賀村は、豊かな自然に囲まれた山間の村。

大好評だった夏休みキャンプに続き、豪雪地帯ならではのプログラムを用意して、楽しさいっぱい冬休みキャンプを実施します。みなさん、白銀の利賀村に遊びにきませんか？



2019年12月26日(木)～29日(水)

対象 小学2年生～6年生

定員 25名

※先着順、定員に達した後はキャンセル待ちにて受付
※学年によって定員枠がある場合あり

参加費 ●●,●●●円(税込)

※県外からご参加の方には、1万円を上限に往復交通費を補助します。詳しくはお尋ねください

活動場所 富山県南砺市利賀村

宿泊

民宿「瑞峰」



日程 (3泊4日)

- | | |
|-------|--|
| 12/26 | はじまりの会、竹のマイ箸づくり |
| 12/27 | 思いっきり“雪遊び”
・ソリ滑り ・かんじき体験
・歩くスキーで自然観察 など
ミニかまくらキャンドルのつどい |
| 12/28 | 雪国の暮らしを体験
・冬の遊びと食の体験 ・お土産づくり
ビデオ上映「山村留学って？」 |
| 12/29 | 出発まで雪遊び、おわりの会 |



募集開始 2019年10月25日(金)

利賀村では、一年間利賀村に住んで学校に通学しながら、四季折々の体験をする山村留学の受け入れを検討しています。山村留学に興味のある方もぜひ遊びにきてください！

詳しくは… <http://www.nanto-toga.com/camp/>

ほっとあつとなんと

南砺市利賀地域山村留学定住推進協議会
南砺市教育委員会

[企画・指導] 公益財団法人育てる会

南砺市商工会利賀村事務所

〒939-2507 富山県南砺市利賀村171
TEL 0763-68-2527 FAX 0763-68-2626
toganavi@shokoren-toyama.or.jp

○ 募集要項

主催	南砺市利賀地域山村留学定住推進協議会
共催	南砺市教育委員会
企画・指導	公益財団法人育てる会
活動日程	2019年12月26日(木)～29日(日) 3泊4日
募集対象	小学校2年生～6年生
定員	25名 ※学年によって定員枠がある場合あり
参加費	●●,●●●円(税込) 上記参加費の他に、現地までの往復交通費が発生します ただし、 県外の方には1万円を上限に補助します
集合解散	東京駅、新高岡駅、宿泊場所(民宿瑞峰) ※大宮駅、長野駅での途中乗下車可能 各駅から宿泊場所までの往復は、活動リーダーが引率をします
募集開始	2019年10月25日(金) ※先着順、定員に達した後はキャンセル待ちにて受付します
事前説明会	東京、南砺市にて開催予定 詳細はお申込みいただいた方にご案内します



○ お申し込み方法

参加申込書をご請求いただくか、当協議会ホームページよりダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、FAX・郵送のいずれかでお申し込みください。（参加申込書はお一人につき1枚必要です）

【資料請求・お申し込み先】

南砺市利賀地域山村留学定住推進協議会（南砺市商工会利賀村事務所内）

〒939-2507 富山県南砺市利賀村171 TEL 0763-68-2527 FAX 0763-68-2626

toganavi@shokoren-toyama.or.jp

○ お申し込みについての留意事項

1. 最低催行人員は15名です
2. 協調性をもって集団生活をおくることができ、特別なサポートを必要としないお子様が対象です
3. 活動内容は、天候やお子様のご様子によって変更する場合があります
4. キャンプの趣旨により、お小遣いや漫画、テレビ等はありません
5. 万一の怪我や事故の際には、NPO法人全国山村留学協会が運営する「山村留学総合保障制度」の範囲内で補償させていただきます
6. お申し込み後に参加をキャンセルする場合は、以下のキャンセル料を申し受けます

11/15～11/30まで	●,●●●円
12/ 1～12/14まで	●,●●●円
12/15～12/23まで	●●,●●●円
12/24～出発前日まで	●●,●●●円
出発当日の集合時間まで	●●,●●●円
集合時間以降及び無連絡	参加費全額

※参加費を納入済の場合は、キャンセル料を差し引いた額を払い戻しいたします

※納入がお済でない方はキャンセル料をお支払いください
※土日祝日等の協議会休業日のご連絡については、メールまたはFAXをご利用ください。留守番電話はありません

7. 出発後の途中参加及び帰宅については、原則として参加費の払い戻しはいたしません

[企画・指導] 公益財団法人 育てる会とは

育てる会とは、自然体験活動や農山漁村文化を活用した様々な体験活動を、自治体と連携して実践する社会教育団体です。

1968年に設立され、約50年にわたり夏休み等を活用した体験活動や講演会、指導者の研修活動を実施しています。また、1976年には日本初の「山村留学」(一年単位で小中学生が農山漁村の小規模校に通学しながら、様々な自然体験や生活体験を行うもの)を制度化し、現在では全国7地域で子どもたちの指導をしています。

<http://www.sodateru.or.jp>

富山の秘境 利賀天空の里

「冬休み雪国の自然と暮らし体験キャンプ」案

期 間 2019年12月26日(木)～29日(日) 3泊4日
 対 象 小学校2年生～6年生
 定 員 25人(小学校2～3年は各5名以内)
 スタッフ 育てる会指導員2人、育てる会リーダー2人
 南砺市リーダー3人、教育委員会・商工会スタッフ
 集合・解散 東京、新高岡、現地(途中乗下車可能駅:大宮、長野)

プログラム案

月日	テーマ	活 動	宿 泊
12/26 (木)	豪雪の山村 利賀天空の郷集合	東京→新高岡→利賀村へ はじまりの会、竹の箸づくり 雪遊び、夜のつどい	民宿「瑞峯」
12/27 (金)	雪で遊ぼう 歩くスキーで森の探検	雪遊び、ソリすべり、かんじき体験 歩くスキーで冬の自然観察 ミニかまくらキャンドルのつどい	民宿「瑞峯」
12/28 (土)	雪国の農家の暮らしを 体験しよう	朝食後4～5軒の農家に分かれる 冬の食文化と農家の暮らし体験 お土産づくり、夕方民宿へ	民宿「瑞峯」
12/29 (日)	荷物まとめ 活動のまとめ	荷物まとめ、掃除 雪遊び、終わりの会 利賀村→新高岡→東京へ	

2019 南砺市「冬休み雪国の自然と暮らし体験キャンプ」活動計画 案

時間	12/26(木)	12/27(金)	12/28(土)	12/29(日)	時間
テーマ	友だちをつくろう 富山豪雪の山村へ	雪遊びをしよう 歩くスキーで雪国探検	雪国の農家へ行こう 冬の山村暮らし体験	活動のまとめをしよう また南砺市で会おう	
6:00		起床		起床	6:00
7:00		朝の集い 朝食(瑞峰) 片付け	起床 朝食(瑞峰) 片付け	起床 朝食(瑞峰) 片付け	7:00
8:00	7:50東京駅集合 8:36東京			荷物整理	8:00
9:00	↓ (途中富山乗り換え)	雪遊び そりすべり かまくらづくり 雪合戦	農家さんへ移動 対面式 冬の遊びと暮らし体験	掃除 アンケート 雪遊び	9:00
10:00					10:00
11:00	11:20新高岡		食文化体験 (各農家及びグループ)	昼食(瑞峰)	11:00
12:00	11:45新高岡発	昼食(瑞峰)	昼食		12:00
13:00	↓ アーパス講堂へ	スキー場へ移動 歩くスキー かんじきで雪山探検 雪遊び	冬の遊びと暮らし体験	終わりの会 民宿「瑞峰」発 ↓	13:00
14:00	始まりの会 上百瀬へ移動		雪国のおやつ お土産づくり	新高岡	14:00
15:00	民宿「瑞峰」入館		農家さんとお別れ	15:00新高岡 ↓	15:00
16:00	竹の箸づくり、雪遊び	スキー場発		↓ 17:52東京	16:00
17:00	入浴	入浴	入浴	↓ 18:00東京駅解散	17:00
18:00	夕食(瑞峰) 片付け	夕食(瑞峰) 片付け	夕食(瑞峰) 片付け		18:00
19:00	活動ミーティング 利賀村のお話し	ミニかまくらキャンドル	利賀の映画をみる 山村留学ビデオ		19:00
20:00	消灯準備	消灯準備	消灯準備		20:00
21:00	消灯	消灯	消灯		21:00
22:00	スタッフミーティング	スタッフミーティング	スタッフミーティング		22:00
23:00	スタッフ消灯	スタッフ消灯	スタッフ消灯		23:00

南砺市長期山村留学実施に向けた取り組みについて

年度	月	基本方針	拠点施設	体験留学	人材養成及び調整	周知活動
2015 ↓ 2016		予備調査・本調査				
2017 ↓ 2019	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3		拠点施設場所 の検討	夏休みキャンプ (6泊7日)		
準備 段階		2019冬休みキャンプ				
2020 年				夏休みキャンプ (2019年度より長期)		
第1 段階 (検討 委員会 設置 ・事業 計画策 定)		検討会設置 基本理念 実施目標 実施事業 受入れ形態 運営形態 拠点施設設 置	施設設置計画 基本プラン 予算措置 国助成金等 予算概算要求 施設設計 施設設置開 始 施設竣工 備品 消耗品	山村留学交流会		
				冬休みキャンプ (3泊4日)		
第2 段階 (施設 整備 ・募集 開始)				夏休み体験留学	人材養成 ・指導員 ・施設スタッフ ・活動講師 ・受入れ農家 ・ボランティア 調整 ・学校関係	体験留学募集 山村留学募集 現地見学会 大都市説明会 近隣説明会 マスコミ等周知
				9月～1月毎月 体験留学 及び 冬休み体験留学 面接会、決定		
第3 段階 (長期 山村 留学 開始)		長期山村留学 留学生10人規模 (2022年スター ト)	住宅準備、随時歓迎	夏休み体験留学		
				現地見学会	9月体験留学	10月体験留学

2020年度南砺市山村留学事業 実施スケジュール(案)

	全体協議会 検討会議	短期留学 見学会、説明会	長期山村留学 長期留学	拠点施設センター 付属施設	南砺市 地元関係団体	育てる会	
						常駐1	指導員2
4月	検討会議			施設の現状調査 改築案作成	暫定事務所設置 (地元、育てる会)	年180日 SV	採用 研修
5月	検討会議 全体協議会	7月、8月募集開始		センター改築協議 改修計画作成			
6月		事前研修会		設計業者と打ち合わせ			
7月	検討会議	9月募集開始 東京、名古屋説明会 4泊5日		センター設計 業者の選定	活動実施		
8月		10月募集開始 1泊2日	現地見学会		活動実施		
9月	検討会議 全体協議会	11月募集開始 1泊2日	募集開始	業者との打ち合わせ	学校との調整 地元との調整 活動実施		
10月		12月募集開始 1泊2日	現地見学会 東京説明会	センター改築 付属施設設置	業務員募集 指導補助員募集 活動実施		
11月	検討会議	1泊2日	現地見学会 東京、名古屋説明会		活動実施		
12月		東京説明会 1泊2日 3泊4日	現地見学会 面接選考会①		活動実施 活動実施		
1月	検討会議		農家募集 面接選考会②		業務員決定 指導補助員決定		
2月	全体協議会		参加者決定	センター改築終了			
3月	検討会議		農家決定 農家研修会	備品搬入、設置 消耗品購入	業務員研修 指導補助員研修		